

〈施設の運営理念〉人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心・安らぎの場を提供します。



いと 西陣憩いの郷だより

vol.34 2023.10.15



Photo by Fumio Okita

106歳

理事長 相馬 隆人



「調子はいかがですか？」
お耳が少し遠いのでちょっと大きな声を出して聞いてみます。

「調子いいですよ」

お元気な声が返ってきます。

Wさんは私の外来に通っておられる患者さんの中で最高齢の106歳です。今でこそ車いすで娘さんに介助され通院されていますが、数年前まではおひとり歩いて通院されておられました。100歳ごろまでは合唱も楽しまれコンサートにも出演。その時のタキシード姿の写真も見せていただきました。

先日の外来でそのお元気の秘訣をお尋ねしたところ、相撲と野球とのことでした。娘さん曰く、相撲は場所が始まる前に幕下から幕内すべての力士をチェックし、どの力士が今場所です活躍するか予想、野球は阪神ファンで今年は好調なので8月早々にマジックが出たときも事前に勝敗を計算してそろそろマジック28が出るなあと申されていたとのこと。

「この歳になるまでいろいろなことに興味を持ち続けているから父は元気なんでしょうね」
にっこりと笑って話される娘さんとそのお隣のWさんを見ていると私が元気をいただいた外来でした。

表紙写真の解説

夕日のボスボラス海峡

トルコ共和国

ボスボラス海峡は、トルコ共和国のヨーロッパ部分とアジア部分を隔てる海峡です。アジアとヨーロッパの境界線といわれています。

そこにまたがる都市イスタンブール（旧名コンスタンティノープル）は、アジアとヨーロッパを結ぶ交易の都市として独特の歴史、文化を誇っています。

理事 置田 文夫

令和4年度 事業報告 社会福祉法人 北野健寿会

令和5年6月8日開催の理事会及び同6月24日開催の評議員会において「令和4年度事業報告」を行い、承認されましたので概要をお知らせいたします。

1 施設運営上の諸課題

(1) 経営の安定化

令和4年度は、3度にわたる新型コロナウイルスの施設内感染の影響により、居室稼働率は過去最低の89.9%まで低下したものの、コロナ関係等の補助金収入により、事業活動収入は、前年度を約270万円上回る結果となりました。

一方、支出面では、電気料金をはじめとする物価高騰による経費支出の増加等により、前年度を約840万円上回ったため、令和4年度の経常増減差額は、前年度を410万円下回る結果となりました。

本施設においては、開設時の福祉医療機構からの借入金償還が完了する令和6年10月までの間は、依然、厳しい経営状況が続く見通しです。

決算状況については、次ページをご覧ください。

(2) 介護人材の確保と育成

ア 人材の確保

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により採用活動が制限されたこともあり、新卒者の採用は1名にとどまりました。

一方で、離職者は、前年の11名からは減少したものの6名ありました。

離職による欠員については、適宜採用を進め充足に努めております。今後とも、賃金改善や有給休暇制度、キャリアアップ支援等の労働環境の充実に努め、人材の確保定着化を図ってまいります。

イ 人材の育成

新人研修は、感染対策を講じつつ、4月1日から延べ4日間実施し、ユニットケアや介護技術等について学びました。

16年目となる「OJT研修 新人職員6箇月研修」では、採用後1年の職員6名が理事長をはじめ先輩を前に成果を発表しました。

その他、外部による動画配信やZoom研修を活用することにより、多くの職員が研修に参加できるように努めました。

(3) 適切な入居者様の処遇の確保

本施設開設以来、「人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心・安らぎの場を提供する。」という施設の基本理念を実現すべく、職員が一丸となって実践、浸透に取り組んでいます。

令和4年度においても、全職員を対象に、高齢者虐待に造詣の深い弁護士を招き、虐待防止研修を実施し、入居者様の適切な処遇の確保に努めました。

2 新型コロナウイルスの感染対策及び感染状況

新型コロナウイルスの感染が全国的に広がりを見せるなか、希望される入居者様、職員等への

2回のワクチン接種のほか、可能な限りの感染対策を講じ、施設内感染の発生防止に努めました。3度にわたる施設内感染が発生いたしました（感染者数：入居者様27名、職員委託事業者36名）。

3 入居者様の状況

入居者様の平均年齢は91.5歳。1割以上が100歳を超え、平均要介護度は、4.0となっています。令和4年度は、新しく3名の入居者様が、新100歳のお祝いを受けられました。

入居者様全員に何らかの認知症の傾向が見られ、日常生活自立度がⅢ以上の「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難な状況が時々見られ、介護が必要な状態にある」方の割合が5割となっています。

4 介護の状況

入居者様の人権を守り、安全で快適に、その人らしく暮らしていただくため、好みと生活リズムを大切にしたい24時間シートを活用したユニットケアを推進しました。

併せて、個別ケアサービスの質の向上を目的に、職員一人ひとりが専門的知識・高度な介護技術を習得するため、以下のご意欲的に取り組みました。

(1) ケアの質の向上への取組

ケアの質の向上を目指し、エビデンス（根拠）・アセスメント（分析・評価）に基づいたケアプランを作成し、入居者様の思いを汲み取れるように心がけ、ご家族様のご意向に沿った支援に努めました。

(2) 事故防止への取組

令和2年12月に策定した「事故発生防止のための指針」に則り、「事故防止委員会」による検証・分析と再発防止策の構築とともに、情報共有と職員教育に取り組みました。

(3) 看取り介護への取組

ご家族様の不安や淋しさを緩和できるよう、丁寧な看取りケアに取り組みました。

5 給食・栄養に関する取組

入居者様にとって食事は1日の中で大きな楽しみであり、生活意欲の向上につながるものでもあることから、昼食のカレー・ビーフシチューなど、入居者様自身が料理作りに参加し、楽しい食生活を送っていただけるよう努めたほか、旬の食材の使用や、季節に合わせた行事食の提供に努めました。

6 入居者様の健康管理に関する取組

(1) 健康管理の取組

全入居者様を対象に年1回の健康診断を実施するとともに、希望される方を対象に、新型コロナウイルス感染症の予防接種を実施し、日常の健康管理に努めました。

(2) 褥瘡防止への取組

褥瘡ケア計画書に基づき、入居者様全員に定期的に褥瘡発生のリスク状態をチェックしました。

併せて、適切なクッション選びや適正な使用方法、ポジショニングの習得により、褥瘡発生の予防に努めました。

(3) 誤薬事故防止への取組

朝礼時に、ヒヤリ・ハット事例を確認し、未然防止に向けた情報共有に努めました。併せて、「声出し指差し確認」を徹底し、安全で確実な服薬管理に努めました。

事業活動計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円)				
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	563,815,903	561,041,636	2,774,267
	経常経費寄附金収益		3,000	△3,000
	サービス活動収益計(1)	563,815,903	561,044,636	2,771,267
	費用			
	人件費	382,564,976	379,662,818	2,902,158
	事業費	81,884,012	78,393,906	3,490,106
	事務費	55,836,662	59,830,392	△3,993,730
	利用者負担軽減額	164,143	236,343	△72,200
	減価償却費	40,416,377	34,237,081	6,179,296
国庫補助金等特別積立金取崩額	△9,307,881	△9,251,060	△56,821	
サービス活動費用計(2)	551,558,289	543,109,480	8,448,809	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	12,257,614	17,935,156	△5,677,542	
サービス活動増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	35,167	76,609	△41,442
	その他のサービス活動外収益	1,858,022	1,548,060	309,962
	サービス活動外収益計(4)	1,893,189	1,624,669	268,520
	費用			
	支払利息	2,853,955	4,196,476	△1,342,521
	その他のサービス活動外費用	1,334,106	1,300,068	34,038
サービス活動外費用計(5)	4,188,061	5,496,544	△1,308,483	
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	△2,294,872	△3,871,875	1,577,003	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	9,962,742	14,063,281	△4,100,539	
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)			
	固定資産売却損・処分損	11,584	6	11,578
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△1	△1	
	特別費用計(9)	11,583	5	11,578
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△11,583	△5	△11,578
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	9,951,159	14,063,276	△4,112,117	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)	595,151,937	519,088,661	76,063,276
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	605,103,096	533,151,937	71,951,159
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)	6,000,000	67,000,000	△61,000,000
	その他の積立金積立額(16)		5,000,000	△5,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	611,103,096	595,151,937	15,951,159



(令和5年10月15日現在:敬称略)

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)			
資産の部	当年度末	前年度末	増減
勘定科目			
流動資産	232,693,504	225,166,272	7,527,232
現金預金	144,937,274	142,603,580	2,333,694
商品券	100,000	100,000	
事業未収金	87,137,442	81,885,531	5,251,911
未収金	80,000	112,302	△32,302
立替金	67,910	169,981	△102,071
前払費用	370,878	294,878	76,000
固定資産	1,216,183,544	1,246,922,953	△30,739,409
基本財産	1,098,937,235	1,132,321,997	△33,384,762
土地	549,000,000	549,000,000	
建物	549,937,235	583,321,997	△33,384,762
その他の固定資産	117,246,309	114,600,956	2,645,353
構築物	6,699,133	8,325,731	△1,626,598
車両運搬具	3	4	△1
器具及び備品	14,839,958	10,505,671	4,334,287
有形リース資産	4,659,089	1,303,696	3,355,393
権利	119,000	119,000	
出資金	10,100	10,100	
無形リース資産	3,136,320		3,136,320
長期前払費用	589,756	884,634	△294,878
施設設備整備積立預金	87,000,000	93,000,000	△6,000,000
長期貸付金	192,950	452,120	△259,170
資産の部合計	1,448,877,048	1,472,089,225	△23,212,177

(単位：円)			
負債の部	当年度末	前年度末	増減
勘定科目			
流動負債	102,826,948	106,170,980	△3,344,032
事業未払金	21,742,656	26,038,884	△4,296,228
1年以内返済予定設備資金借入金	66,180,000	66,180,000	
1年以内返済予定リース債務	2,091,372	1,042,956	1,048,416
預り金	18,605	18,625	△20
職員預り金	1,794,315	1,890,515	△96,200
賞与引当金	11,000,000	11,000,000	
固定負債	231,136,230	251,647,652	△20,511,422
設備資金借入金	125,120,000	191,300,000	△66,180,000
長期運営資金借入金	100,000,000	60,000,000	40,000,000
リース債務	6,016,230	347,652	5,668,578
負債の部合計	333,963,178	357,818,632	△23,855,454
純資産の部			
基本金	242,055,000	242,055,000	
第一号基本金	242,055,000	242,055,000	
国庫補助金等特別積立金	174,755,774	184,063,656	△9,307,882
その他の積立金	87,000,000	93,000,000	△6,000,000
施設設備整備積立金	87,000,000	93,000,000	△6,000,000
次期繰越活動増減差額	611,103,096	595,151,937	15,951,159
(うち当期活動増減差額)	9,951,159	14,063,276	△4,112,117
純資産の部合計	1,114,913,870	1,114,270,593	643,277
負債及び純資産の部合計	1,448,877,048	1,472,089,225	△23,212,177

新役員体制 社会福祉法人 北野健寿会

評議員										監事		理事					
横井 康	森 啓高	藤田 寛隆	中村 紀之	中埜 公江	寺田奈都子	兼松 豊	赤井 英俊			小林 由香	北川 展之	塩見 徹也	吉村 康	飛田 収一	置田 文夫	相馬 靖	相馬 隆人
公認会計士	医師	住職	元短期大学准教授 (百陽地区のための第三希望会)	薬剤師・歌人	保護司	牧師 (百陽地区のための第三希望会)	乾陽学区自治連合会会長 社会福祉協議会会長			税理士	地域ボランティア 活動団体代表	常務理事 西陣憩いの郷・施設長	西陣憩いの郷・施設長	医師	弁護士	医師	理事長(医師)

特別養護老人ホーム
西陣憩いの郷
行事のご報告

2023年7月～

七夕

皆様の大切な
願い事を書いた短冊を
飾り付けました。



書道

半紙と筆で皆様、
楽しそうに字を
書かれていました。



夏まつり

夏祭り開催!
輪投げ!金魚すくい!
ボーリング!



令和5年8月11日

山の日

昼食●箱寿司/すいか
インゲンと茄子の煮物/赤だし



令和5年7月17日

祇園祭

昼食●枝豆ご飯/湯引き鯉
鶏肉のはちみつしょうゆ焼き
長いものカレー揚げ/赤だし
ピーマンと人参の厚焼き玉子
冬瓜のカニあんかけ/青かつば漬け



令和5年6月30日

水無月

間食●水無月



行事食の
ご紹介

栄養管理担当より

令和5年8月16日

大文字

昼食●みょうがとしらすの香りご飯
白身魚の南蛮揚げ/黄金漬け
茹で豚の胡麻ソース/清まし汁
茄子とベーコンのトマト煮
夏野菜と玉子のサラダ



令和5年7月30日

土用の丑

昼食●うなぎ丼/菊菜の湯葉和え
茶碗蒸し/赤だし



令和5年7月7日

七夕

昼食●七夕そうめん
たらこふりかけご飯/にしん茄子
星形しんじょうの煮物/七夕ゼリー



令和5年6月18日

父の日

昼食●はすご飯/清まし汁
白身魚の梅肉焼き/エビカツ
きゅうりとみょうがの和え物
ピーマンの玉子炒め/黄金漬け



★3月
★ひな祭り★喫茶レク
★書道サークル

★2月
★節分★喫茶レク
★書道サークル

★1月
★正月★喫茶レク
★書道サークル

★12月
★クリスマス★喫茶レク
★書道サークル

★11月
★喫茶レク
★書道サークル

2023年11月
～2024年3月
行事予定

予定は変更になる
場合があります

ショートステイ紹介

西陣憩いの郷の最上階に、ショートステイがございます。

最上階のため、お部屋からの景色は抜群で、京都の町並みや比叡山が一望でき、五山の送り火もご覧いただけます。

全ての居室が個室で、居室内にはトイレと洗面台が完備されており、ゆつたりと過ごしていただくことができます。

お一人お二人のご自宅での生活リズムを尊重し、可能な限り在宅生活の継続を目指しております。

●たまにはリフレッシュしたい

●冠婚葬祭や仕事で介護できない日がある

●施設利用に慣れたい

●介護負担を軽減したい

等々、ご家庭での介護が困難な時にご利用いただけます。

現在、新規ご利用者様を募集しております。もしご利用希望ございましたら、どうぞお気軽にお声掛けください。

ショートステイ担当 瀧山



新入職員

9月30日現在

よろしくお願ひいたします！



1F 介護職員
田光 真理子



3F 介護職員
服部 駿一



4F 介護職員
木村 涼祐



5F 介護職員
浅野 草



6F 介護職員
山崎 るみ



ケアマネジャー
末永 貴至子



事務職員
木下 真宏



居室面会の再開

9月1日より居室での面会を段階的に再開させていただいております。

詳しくはホームページにも掲載していますので、ご確認ください。

未だ予断を許

さない状況が続

いております。引

き続き感染症対

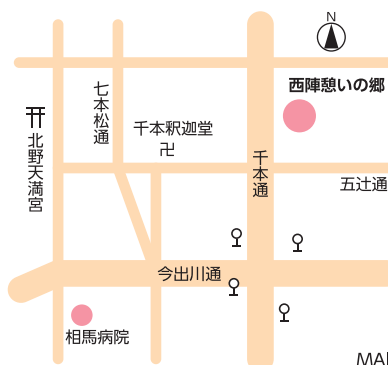
策の徹底にご理

解ご協力をお願

いたします。



施設のご案内



京都駅方面より
市バス6・206・50系統

四条河原町方面より
市バス46・59・201系統

「千本今出川」バス停
下車徒歩3分

お問合せはこちらまで

TEL. 075-431-1513

FAX. 075-431-1514

MAIL. nishijin-ikoi@kitano-kenjukai.or.jp

介護スタッフ募集中

詳細はお問い合わせください。

本誌をお読みいただきありがとうございます。

今号より広報誌の編集の担当をさせていただきますことになりました木下真宏と申します。

本年7月に入職したばかりの若輩者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

広報誌を通じ、入居者の皆様の元気なお姿や、施設の現状、変化など様々なことを発信していきたいと思っております。お楽しみいただければ幸いです。

(担当 木下 真宏)

編集後記